

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	外国語		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (30) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	松下 修	実務経験と その関連資格	指導歴11年、第1種英語教員免許状			
《授業科目における学習内容》						
施術所にて想定されるやりとりの場面で使う英語の語彙や表現を学び、それらを用いて実際にやりとりができるようになる						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(70%) + 出席(20%) + 提出物等(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復師のための外国人対応ハンドブック(九段日本文化研究所・日本語学院)						
《授業外における学習方法》						
単語の意味調べ、課題						
《履修に当たっての留意点》						
配布されたプリント類はファイリングし、学期ごとに自己評価シートに必要事項を記入の上提出のこと						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	英語の必要性及び異文化理解のために必要な態度について理解できる	プリント		
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、異文化接触における自身の考え方や態度について考える			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	英語の発音記号をもとに発音ができる	プリント		
		各コマにおける授業予定	英語の母音、子音について 発音記号について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	受付・会計の場面での患者とのやりとりで必要となる語彙、表現を正しく発音でき、使えるようになる	テキスト プリント	新出単語を調べる	
		各コマにおける授業予定	受付・会計に必要な語彙・表現を覚える 挨拶、初診再診の確認、初診の場合、保険証の提出			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	受付・会計の場面での患者とのやりとりで必要となる語彙、表現を正しく発音でき、使えるようになる	テキスト プリント		
		各コマにおける授業予定	診察室への案内、その他の表現会計まで待機の案内、保険証・診察券の返却、会計、お見送り、その他の表現			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察・問診の場面での患者とのやりとりで必要となる語彙、表現を正しく発音でき、使えるようになる	テキスト プリント	新出単語を調べる	
		各コマにおける授業予定	診察・問診に関する語彙と表現 診察前の会話、診察の開始、部位の特定、時期の特定、			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察・問診の場面での患者とのやりとりで必要となる語彙、表現を正しく発音でき、使えるようになる	テキスト プリント	
		各コマにおける授業予定	原因の特定、症状について、その他の表現		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	視診・触診の場面での患者とのやりとりで必要となる語彙、表現が分かり、正しい発音ができ、使えるようになる	テキスト プリント	新出単語を調べる
		各コマにおける授業予定	視診と触診に関する語彙と表現 視診の開始、視診中の会話、触診の開始、姿勢の指示		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	視診・触診の場面での患者とのやりとりで必要となる語彙、表現が分かり、正しい発音ができ、使えるようになる	テキスト プリント	
		各コマにおける授業予定	姿勢の指示、触診中の会話		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまで学習した表現をを使って患者とのやりとりが適切に行えるようになる	テキスト プリント	
		各コマにおける授業予定	受付、会計、問診、視診、触診のまとめ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波機器による診察	テキスト プリント	新出単語を調べる
		各コマにおける授業予定	超音波機器による診察に関する語彙、診察中の会話		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者に診断結果を伝える際に必要となる語彙、表現が分かり、正しい発音ができ、使えるようになる	テキスト プリント	新出単語を調べる
		各コマにおける授業予定	診断結果を伝えるときに必要な語彙と表現 診断の確定、施術室への案内		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	施術を行う場面において患者とのやりとりで必要となる語彙、表現が分かり、正しい発音ができ、使えるようになる	テキスト プリント	
		各コマにおける授業予定	施術の開始、背術の方法		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	施術を行う場面において患者とのやりとりで必要となる語彙、表現が分かり、正しい発音ができ、使えるようになる	テキスト プリント	
		各コマにおける授業予定	施術中の会話、注意事項、再審予約		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまで学習した表現をを使って受付から会計までの一連の患者とのやりとりが適切に行えるようになる	テキスト プリント	会話文を作成する
		各コマにおける授業予定	超音波機器による診察、診断結果を伝える、施術のまとめ 会話文作成		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまで学習した表現をを使って受付から会計までの一連の患者とのやりとりが適切に行えるようになる	テキスト プリント	
		各コマにおける授業予定	会話練習：ロールプレイ、発表		